

学校保健委員会だより

令和4年11月30日
 笠縫小学校
 笠縫小PTA 保健安全部

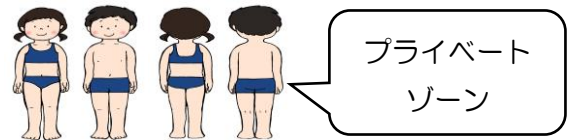
日頃は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にご理解・ご協力いただきありがとうございます。昨年度、一昨年度は新型コロナ感染拡大の状況を踏まえ、学校保健委員会の開催を見送りました。今年度は参加規模を縮小して、テーマ「生き生き学ぶ笠縫の子～子どもの心身の健康の育成を目指して～」をもとに、多目的教室において11月17日（木）に開催させていただきました。令和4年度健康診断結果、本校での性教育の取り組み報告後、助産師 宮迫美帆先生をお招きし『明るい「性」の話を子どもたちに～性教育は愛の贈り物～』をテーマにご講話いただきました。ご参加いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

《令和4年度性教育推進計画》

	体の発育・発達から	心理的な発達から	男女の人間関係から	社会的な面から
1年	●からだをきれいに（学活） *水泳指導にあわせて	●もうすぐ2年生（生活科） ●生命の尊重（道徳）	●友だちと仲よく（道徳） ●いっしょにできるかなうき遊ぼうえがおの学級（生活科）	●健康・安全に（学活）
2年		●これまでのわたしこれからのわたし（生活科） ●生命の尊重（道徳）	●友だちと仲よく（道徳）	●健康・安全に（学活）
3年		●生命の尊重（道徳）	●友だちを理解し、助け合う（道徳）	●健康な生活（保健）
4年	●変化してきたわたしたちの体（保健）	●生命の尊重（道徳） ●体の中で起こる変化（保健）	●体の中で起る変化（保健）	●よりよい発育・発達のために（保健）
5年	●植物の発芽と成長 花から実へ（理科） ●ヒトのたんじょう（理科）	●心の健康（保健） ●生命の尊重（道徳）	●男女仲よく（道徳）	●けがの防止（保健）
6年		●生命の尊重（道徳）	●男女仲よく（道徳）	●病気の予防（保健）



小学校では各学年の発達段階に応じて、体の大切な部分（プライベートゾーン）や体や心の成長について、絵本や教科書を使用して指導しています。



講演 明るい「性」の話を子どもたちに～性教育は愛の贈り物～ 助産師 宮迫美帆先生

性教育は「自分っていいな、自分のこんなところが好き」など自己肯定感を育てるとともに、自分のことを大切にすることで他者も大切にできる心が芽生え、自他ともに心も体も大切に危険な性行動を回避できたり、より良く生きていくための自己決定力を養うことができる人権教育であるということを実践的に楽しくお話していただきました。

また、お家で性の話について心の準備をしていないときに、子どもに突然、性的なことを聞かれると、ドキッとしてあいまいな返事や適当な答えを伝えたり、つい否定的な言葉を返してしまうかもしれませんが、大人が慌ててしまい否定的な態度をとってしまうと、子どもは性について聞いてはいけないこと、話してはいけないことと認識してしまいます。性への関心は個人差があり全く興味のない子どももいれば、SNSなどで沢山の情報を目にしている子どももいます。正しい性教育の知識を学ぶことは、間違っただけで性情報から子どもを守ることに繋がります。性について子どもが聞いてきたときは、はぐらかすことなくわかる範囲で答えてあげてください。例えば、「どうしてそう思ったの？」「どうしてかな」「分からないし一緒に調べようか」など性について話せる雰囲気や親子の関係を築いていただけたらとお話ししていただきました。

裏面に続く



～参加して下さった方からの感想より～

宮迫先生のお話が自分自身の性のことや親子間での性の話などを振り返りながら聞かせていただくことができました。現実の性の問題と学校や家庭でおこなう性教育との間に大きなギャップがあるので、発想をかえていく必要があると思いました。ありがとうございました。

宮迫先生の性教育の内容は一步踏み込んだ話で、大変参考になりました。学校での保健の授業内容やテレビの話題を取り上げて子どもたちと話をするようにしています。思春期を迎えた子どもたちとさらに踏み込んだ話をしなくてはいけないと感じました。



家庭での性教育はとても大切な事だと思いました。子どもと性の話をするのは恥ずかしくてなかなか出来ていませんが、少しずつ話そうと思います。

性についての話を親が恥ずかしがらずに、正しく今まで以上に話せたらと思います。子どもと雑談から始め、もっと親子で会話をしたいです。

子どもに聞かれてどのように答えたら良いのか分からないことを明るく楽しく愛を持って伝える方法を教えてもらったと思います。ありがとうございました。

子どもから性の質問をされたことはなく話をしたことはありません。しかし、性についてどのように話せばよいのか、話しのきっかけをいただけて良かったです。家でチャレンジしてみます。

学校で1年生から性教育の取り組みをされていて、とても大切なことが聞けて良かったです。自分の存在を大事にし、自己肯定感をもって育ててほしいです。これからは雑談が出来る親子関係でたいです。

講演の中で「横並びの関係を」と話されていたのがとても印象的でした。普段の会話の中で上から指導するのではなく、自然に伝えていければいいなと思いました。

タブーだと思っていた性教育をオープンに話しても良く、また、話をする事で子どもたちが自分自身を守り大切にすることにつながっていくのだと分かりました。とても大切なお話を聞かせていただきありがとうございました。



参加いただいた学校医・学校歯科医・薬剤師の先生より

- *学校医 宮本先生 思春期を迎える子どもがいるので性について前向きに向き合っていきたいです。
- *学校薬剤師 田中先生 性教育については正しくオープンに伝えていくことが大切ですね。
- *学校歯科医 高田先生 少し話はそれますが、歯の治療に以前はアマルガムという水銀を含んだ金属を使用していました。環境汚染などにつながる恐れから、最近はプラスチック・セラミックの素材が使われるようになってきました。(学校保健委員会が3年ぶりの開催ということで、その間に歯